

「遊びの研究会」お問い合わせ

児童発達支援センターどれみ

三重県名張市百合ヶ丘西5番町25番地、名張子どもセンター内4.5F

TEL 0595-44-6211、0595-44-6166(相談) FAX 0595-44-6233

Mail doremi@n-ikuseien.jp

(利用時間:平日9:00~17:00)

子どものために学ぶ、あそびの遊び方

あそびを通して子どもの発達を考える、どれみ主催の「あそびの研究会」

伊賀や名張地域の保育園・幼稚園や小学校の先生、福祉関係者など、児童発達支援に携わる方たちとともに、子どもたちの遊びについて考え、なんでも話し合える場として始まった「あそびの研究会」。発足から10年以上経過した今でも毎回多くの参加者を得て、遊びの中から大切な学びを得ています。

今回のテーマは、「みんなと遊べるからだの条件」。身体が上手に使えるようになると、見える世界広がってきます。それぞれの発達や個性に応じ、みんなと遊べるからだの条件とは何か、約50名の参加者とともに発達の順を追って考えてみました。

相手を認識する

皮膚感覚で受け取る「こどもの世界」。

参加者同士で隣の人の手を見せてもらい、次に手をつないでもらいました。



「わたし」と「あなた」との違いは何でしょう？大人は手をつないでいても、つい相手を見て考えてしまいますね。

生身の身体からはたくさんの情報が溢れています。まずそれらを皮膚感覚で受け取るのが「こどもの世界」。手の感触からでも人との違いを感じ取り、相手を認識する大切な情報として受け取っているのです。

参加者より

『手をつなごうとして振り払われたことがあります。子どもは言葉や表情ではなく、手から私を感じていたのですね。明日から指先に思いを込めて手をつなごうと思いました。』『手をにぎる大切さを感じました。にぎった時に感性を研ぎ澄ませ、明日からの保育に活かします。』



相手のいる遊びについて考える

大切な「動く、止まる」ということ。

参加者が二組に分かれて「はないちもんめ(裏面参照)」で遊びました。



手をつないだり、相談したりするコミュニケーション作りや、意見を一つにまとめながら進めるルールで規律や社会性の理解に役立つことなどが期待できる伝承遊びです。

遊びとしては、動く、止まるが繰り返される全身運動ですが、慣れてくると異年齢など発達の違いや、相手の表情を見て動きを合わせる気遣いも備わってきます。

また、経験を積んで遊び方がわかってくると、相手チームから引き抜く人はジャンケンで強そうな人から指名して最後に勝利するなどの戦略性も身につけてきます。このように、「動く、止まる」という動作ができれば、遊びの幅やその要素もグーンと広がってきます。

参加者より

『動く、止まるという基本的な動作から、一つの「あそび」に含まれている様々な要素に遊びが膨らみ、成長していくのだと分かりました。』『普段の何気ない遊びでも、子どもは様々な思考を巡らせて遊んでいると改めて感じました。』

参加者のみなさん、ありがとうございました。この学びや気づきを、今後の保育・教育につなげ、子どもの成長に寄り添いましょう。(取材:広報委員会)

名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

高齢者グループホーム〈ひかり〉

ひかりの新年



ひかりで迎えた新年。三が日はお節料理を召し上がっていただき、リビングに設えた「ひかり神社」にお参りしてから、おみくじを引いたり各々お正月を味わっていただきました。また職員の手による、令和七年という揮毫の力強さに、中には感動のあまり涙する方も…

さあ、今年はどんな年になるでしょうか。入居者の皆さんは、『健康で楽しく暮らしたい』と抱負を述べてくれました。何より健康で笑って過ごせることが大事ですよ♪

皆さんにとって良い一年となりますように。

本年もよろしくお願いいたします(^^)

ホームヘルプサービス〈ゆーゆ〉

Instagramより



遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます!今年もよろしくお願いいたします。

さて、2025年一発目の投稿は、山口ヘルパーとYさんです。

素敵なツーショット!!寒いけどお散歩すると身体が温まるし、気持ちいいですね♡

その様子を動画で投稿しています。QRコードから閲覧できますので、ぜひご覧ください。

※写真を撮る為にマスク外しています。

今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。



▲ブログはコチラ

名張市地域活動支援センターひびき

今年も



新たな年を迎え、ひびきも年末年始休みを終えて、開所が始まりました。今年も暦の都合で例年より多くお休みをいただき、初開所で「やっとひびきに来られる!」とありがたい言葉もいただきました。

早速、ひびきからも初詣に行く活動を企画しました!今回の行き先は、伊賀市にある大村神社。大村神社は地震の守護神として地元では有名な神社です。昨年も能登で大きな地震があり、ひびきでも防災について意識する年となっていました。

雪が少し残っていましたが、まず参拝方法はどうかかな?と確認したり、おみくじの結果はどれどれ?冷え込みましたが、無事に初詣を終えました。

今年1年皆さんの願いが叶いますように。そして、その願いに向かって職員もサポートできるよう、取り組んでいきたいと思ひます。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

昔を思い出し、みんなで手をつないで遊んでみましょう!

はないちもんめの遊び方

動作を一つひとつ分解すると、様々な要素が含まれている高度な遊びだということがわかります。また地方によっても遊び方が異なり、伝承を紐解いても面白いですよ!

1. それぞれの組は手をつないで一列に並んで向かい合う。じゃんけんで先攻後攻を決める。

2. 先攻の組から「か〜ってうれしいはないちもんめ」と歌の一節を歌います。歌っている組は前に進み、相手の組はあとずさりする。はないちもんめの「め」の部分で片足を蹴り上げる。



3. 今度は負けた組が「まけ〜てくやしいはないちもんめ」と歌って、前に進む。

4. 歌が終わると、それぞれの組で相談して、相手の組から誰をこちらの組に受け入れるかを決める。決まった組は「き〜まった」と叫ぶ。



5. それぞれの組は手をつないで一列に並んで向かい合い「××ちゃんが欲しい」と前に進みながら受け入れたい相手を指名しあう。

6. 双方の代表者がじゃんけんを行い、勝った組に負けた組から指名されたメンバーが移動する。



7. 片方の組からメンバーがいなくなれば終了。つづける場合には1にもどる。(出典:はないちもんめ - Wikipediaより抜粋加筆)